

平成27年10月7日

## うつくしまふくしま未来支援センターシンポジウム 「ふくしまの食品・農業・環境の未来を創る」開催

うつくしまふくしま未来支援センター農・環境復興支援部門では、2011年からこれまでに取り組んできた農業への支援、放射性物質の環境動態研究などの成果と今後の課題について、わかりやすく解説、紹介するシンポジウムを開催します。

・日時：2015年10月28日（水） 13:00（12:30開場）～17:00

・場所：コラッセ福島 4階 多目的ホール

※参加無料・事前申込不要

### — 内容 —

○司会進行 大瀬健嗣・河津賢澄（福島大学）

○招待講演

「復興に向けた放射線防護のあり方」 甲斐倫明氏（大分県立看護科学大学）

○成果報告

「復興支援への放射能対策担当の取組み」 河津賢澄（福島大学）

「浜通りにおける環境水中トリチウム濃度調査」 島長義（福島大学）

「福島県における大気中放射性セシウムの動態と濃度推移」 北山響（福島大学）

「農林生産環境における放射性セシウムの動態」 大瀬健嗣（福島大学）

「緊急時対応から持続可能な放射能対策の組織化」 石井秀樹（福島大学）

「農業経営再建と地域再生に向けた実践と展望」 小松知未（福島大学）

主催 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

後援 福島県・農業・食品産業技術総合研究機構・地産地消運動促進ふくしま  
協同組合協議会

(お問い合わせ先)

うつくしまふくしま未来支援センター  
農・環境復興支援部門 食・農復興支援担当

特任准教授 小松知未

電話：024-548-8383

メール：r626@ipc.fukushima-u.ac.jp

参加無料  
事前申し込み不要

# ふくしまの 食品・農業・環境 の未来を創る

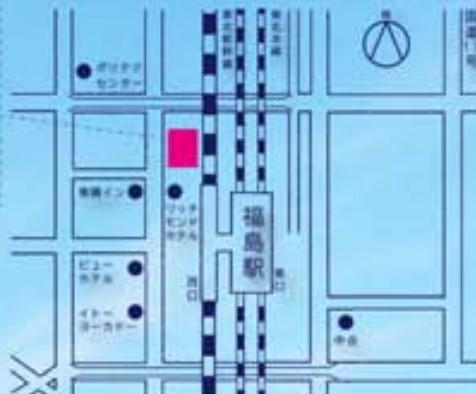
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター農・環境復興支援部門シンポジウム

本シンポジウムでは、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター「農・環境復興支援部門」で、2011年からこれまでに取り組んできた農業への支援、放射性物質の環境動態研究などの成果について、わかりやすく解説するとともに、今後の課題についても紹介します。

日 時 2015年10月28日(水)

場 所 コラッセ福島4階多目的ホール

福島駅西口より  
徒歩3分  
東北自動車道  
福島西IC・飯坂IC  
より車で約15分



招 待 講 演 甲斐倫明(かいみちあき)氏

東京大学医学部助手、米国 Fred Hutchinson Cancer Research Center 公衆衛生部客員研究員等を経て、現在は大分県立看護科学大学教授。工学博士。現在、国際放射線防護委員会(ICRP) 第四専門委員会委員、一般社団法人日本保健物理学会会長、一般社団法人日本放射線影響学会理事、また、一般社団法人日本リスク研究学会会長などを歴任。専門は放射線保健・リスク解析、発がん数理モデル、医療被ばくのリスク評価・管理など。

お問合せ 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター事務局

TEL/FAX: 024-504-2865 MAIL: fure@adb.fukushima-u.ac.jp

主 催 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

福島県、農研機構東北農業研究センター、地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会

## —シンポジウムプログラム—



12:30	開場・受付開始	うつくしまふくしま未来支援センター マスコットキャラクター 「めばえちゃん」
13:00	開演	
13:00-13:10	開会挨拶	うつくしまふくしま未来支援センター センター長 中田スウラ
13:10-13:30	主旨説明	うつくしまふくしま未来支援センター 農・環境復興支援部門 部門長 塚田祥文
13:30-14:30	招待講演 「復興に向けた放射線防護のあり方」	大分県立看護科学大学 教授 甲斐倫明氏
14:30-16:50	成果報告	
14:30-14:50	「復興支援への放射能対策担当の取組み」	河津智治
14:50-15:10	「浜通りにおける環境水中トリチウム濃度調査」	島長義
15:10-15:30	「福島県における大気中放射性セシウムの動態と濃度推移」	北山輝
	(休憩 10 分)	
15:40-16:00	「農林生産環境における放射性セシウムの動態」	大瀬健嗣
16:00-16:25	「緊急時対応から持続可能な放射能対策の組織化」	石井秀樹
16:25-16:50	「農業経営再建と地域再生に向けた実践と展望」	小松知夫
16:50-17:00	閉会挨拶	うつくしまふくしま未来支援センター 副センター長 小山良太